



**IDEXX**

尿沈渣ガイド

# 尿沈渣ガイド

## 尿沈渣分析装置 IDEXX セディビューDx\*画像例

スケールバーは20 $\mu$ m \*実際の検査結果にはスケールバーは表示されません。

### 血球細胞

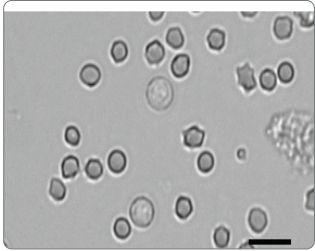


図1. 赤血球

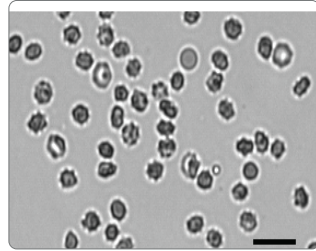


図2. 金平糖状赤血球



図3. 白血球

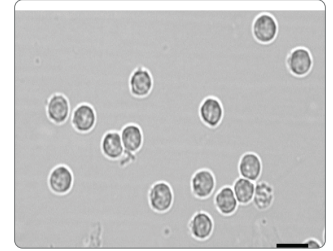


図4. 白血球

### 上皮細胞

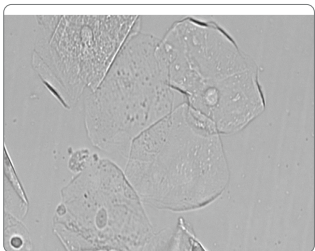


図5. 扁平上皮細胞



図6. 扁平上皮細胞

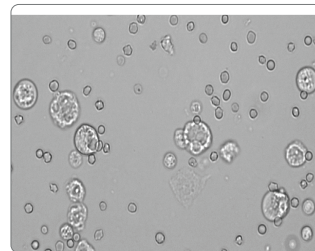


図7. 多数の赤血球と白血球、移行上皮細胞

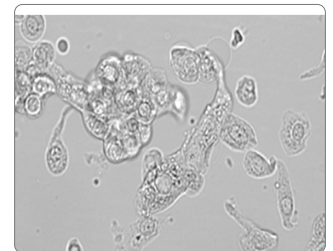


図8. 多数の移行上皮細胞 (移行上皮癌の可能性が高いため、乾燥塗抹標本による確認を推奨)

### 細菌

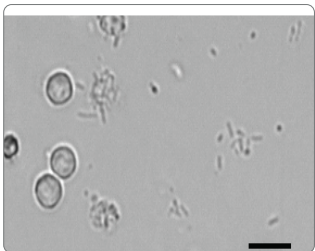


図9. 白血球と桿菌

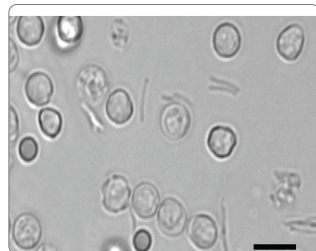


図10. 白血球と赤血球、桿菌

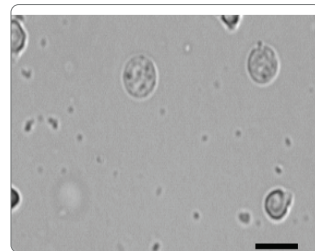


図11. 白血球と球菌

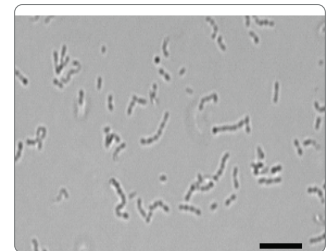


図12. レンサ球菌

### 円柱

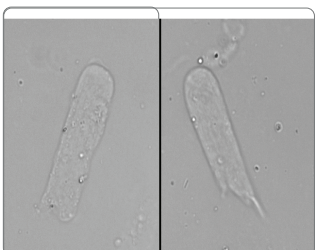


図13. 左・右硝子円柱

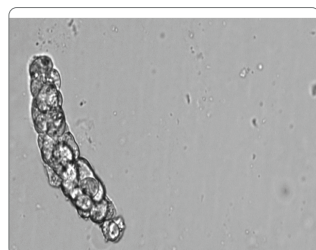


図14. 細胞円柱

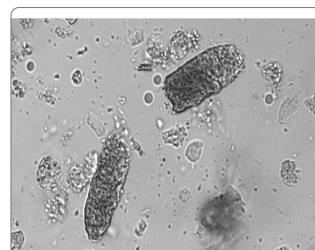


図15. 多数の顆粒円柱



図16. ろう様円柱



## 結晶

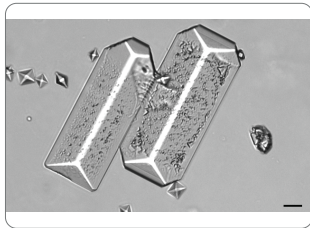


図17. 大型のストルバイト結晶

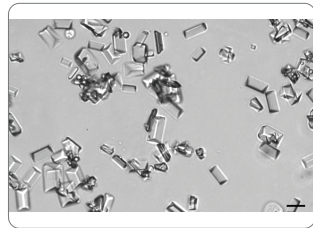


図18. 多数の小型ストルバイト結晶

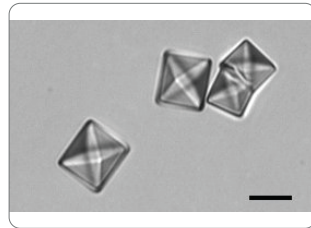


図19. 大型のシュウ酸カルシウム二水和物結晶

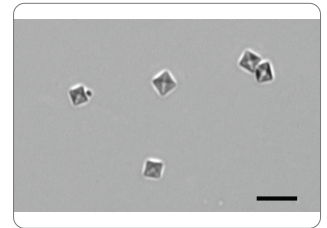


図20. 多数のシュウ酸カルシウム二水和物結晶

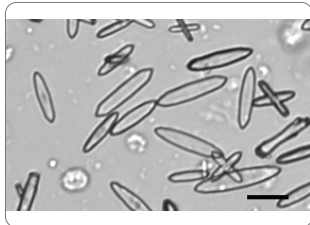


図21. 杭刺状のシュウ酸カルシウム一水和物結晶

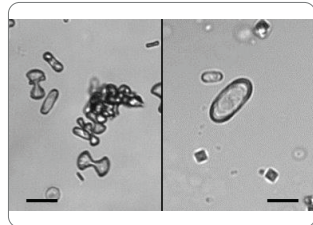


図22. シュウ酸カルシウム一水和物結晶；左鉄アレイ状右麻の実状

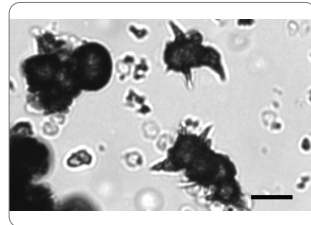


図23. 棘を有する球状の尿酸アンモニウム結晶

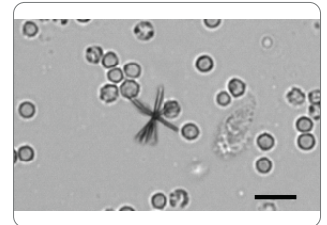


図24. 白血球とビリルビン結晶

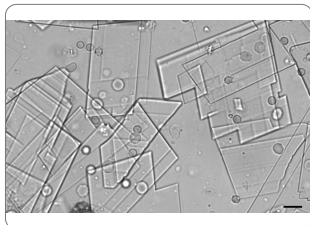


図25. コレステロール結晶

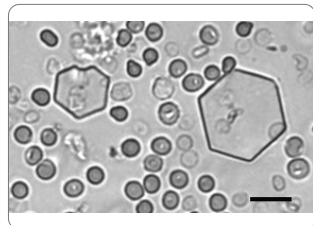


図26. 赤血球とシスチン結晶

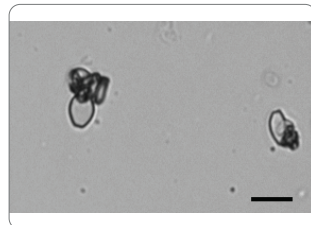


図27. 尿酸結晶

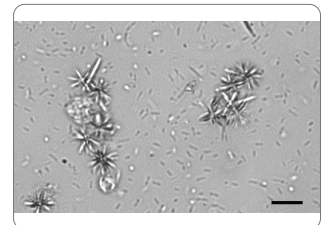


図28. 薬物を疑う結晶

## その他

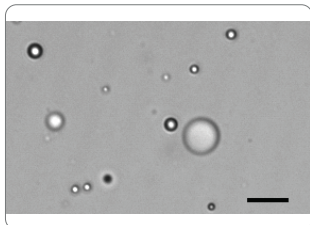


図29. 脂肪滴

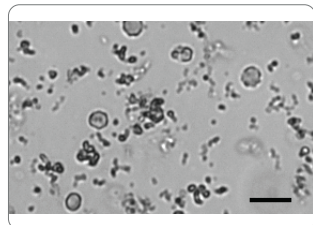


図30. 無晶性物



図31. 菌糸

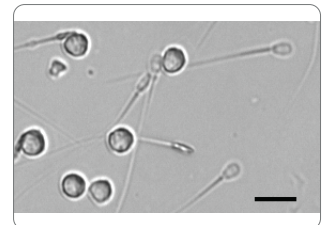


図32. 白血球と精子

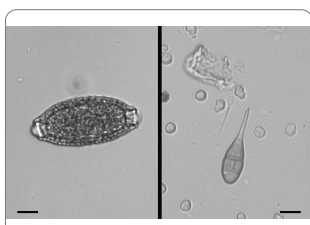


図33. 左毛細線虫 *Pearsonema* sp. (*Capillaria* sp.)の虫卵；右真菌の分生子

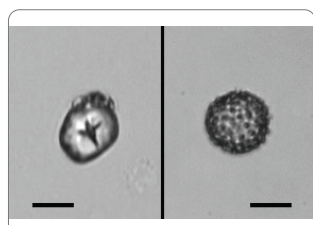


図34. 左グローブ・パウダー；右花粉



図35. 繊維

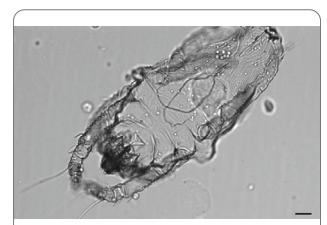
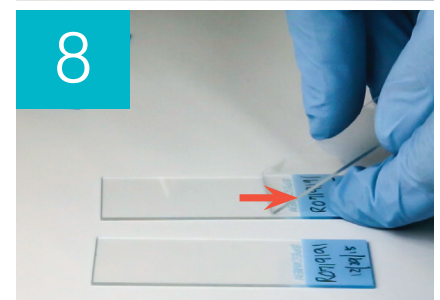
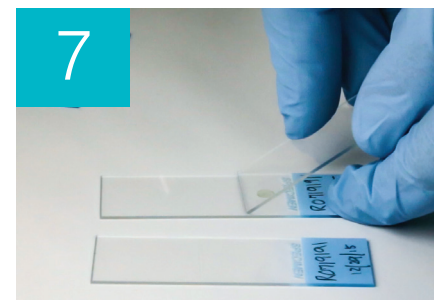
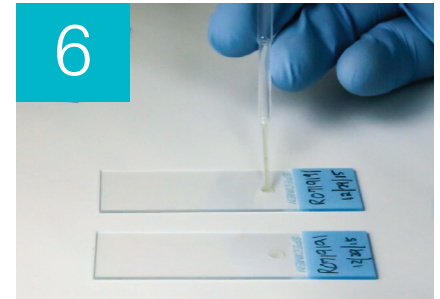


図36. チリダニ

## 尿沈査塗抹標本の作製方法（ラインスメア法）

尿沈渣塗抹標本の評価は、尿中の細菌の確認、球菌と短桿菌の区別および細胞成分の鑑別において、費用対効果に優れた検査です。

1. スライドのラベル部分に検体名を書きます。
2. 遠心できないチューブに尿検体が入っている場合は、よく混和して遠心可能なチューブに尿を移し替えます。
3. 検体（とバランス）を尿検体用の設定（または400 g）で遠心します。  
**注：**遠心分離器に尿検体用の設定がない場合は、遠心分離器の取り扱い説明書に従って回転数と時間を設定してください。
4. 遠心分離後に、チューブの底に沈渣が形成されていることを確認します。  
沈渣の再懸濁のために少量の尿を残しつつ、上清は丁寧に吸引します。  
**注：**検体中に細胞成分が少ない場合は、沈渣がほとんど形成されないことがあります。
5. チューブの底を指で軽く数回たたいて、固形成分をゆっくり崩し再懸濁します。
6. 血液塗抹標本の作製と同じ要領で、新しいピペットを用いて、スライド上に尿沈渣を1滴たらしめます。
7. 清潔なスライドガラスを滴下した尿検体の前に約30~40度の角度で置きます。
8. スライドガラスで尿検体を手前に引き、検体がスライドガラスの縁に沿って広がります。
9. 上のスライドガラスを下のスライドガラスに当てたまま、下のスライドガラスのラベル側とは逆方向に向かって動かします。
10. 下のスライドガラスの中央あたりで塗抹を引く作業を止め、上のスライドガラスをそのまま垂直に引き上げます。これにより、引き終わりに細胞が線状に集まります。
11. スライドを完全に風乾した後、一般的塗抹用染色液（例：Diff-Quik染色）で染色します。
12. 鏡検します。





# 従来の尿沈渣画像

注釈のない画像は全て強拡大（40×対物レンズ視野）で撮影したものです。

## 血球

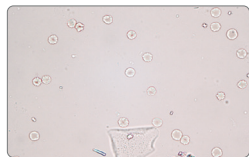


図1. 多数の赤血球と1個の扁平上皮細胞

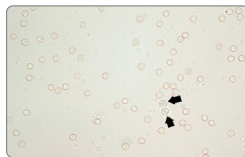


図2. 多数の赤血球と2個の白血球 (黒矢印)

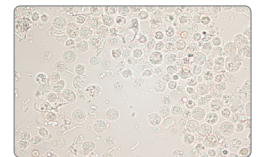


図3. 多数の白血球と少数の桿菌

## 上皮細胞



図4. 扁平上皮細胞

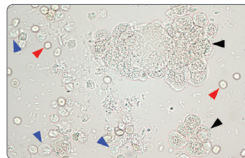


図5. 上皮細胞 (黒矢印)、赤血球 (赤矢印)、白血球 (青矢印)

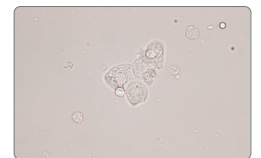


図6. 移行上皮細胞

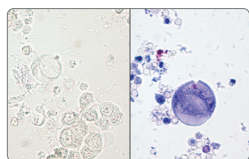


図7. 左 移行上皮癌; 右 NMB染色

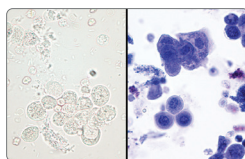


図8. 移行上皮癌 (NMB染色)

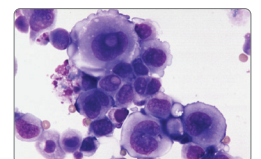


図9. 移行上皮癌 (Diff-Quik染色による乾燥塗抹標本)

## 細菌

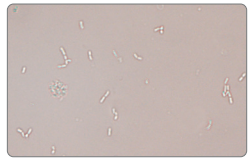


図10. 多数の桿菌 (100×対物レンズ視野)

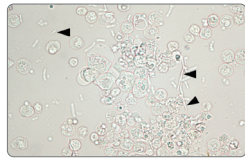


図11. 多数の白血球と大型桿菌 (黒矢印)

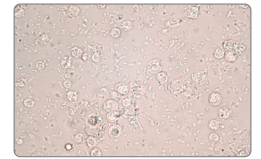


図12. 多数の細菌と白血球

## 円柱

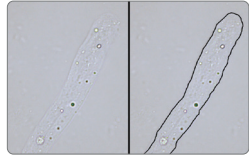


図13. 硝子円柱 (右 境界を明瞭化)

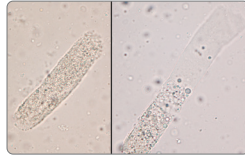


図14. 左顆粒円柱; 右 蠕様円柱と顆粒円柱

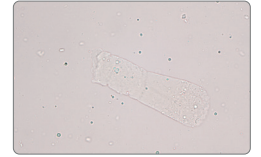


図15. ろう様円柱

## 結晶

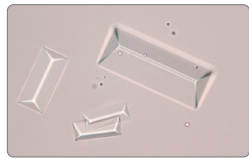


図16. ストルバイト

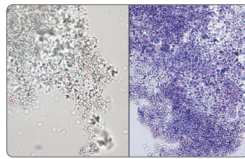


図17. 無晶性物 (右 NMB染色)

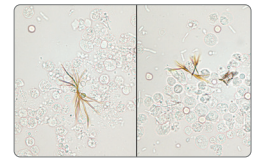


図18. ビリルビン結晶

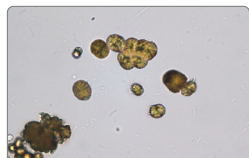


図19. 尿酸アンモニウム

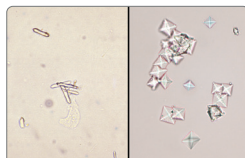


図20. 左シュウ酸カルシウム一水和物; 右シュウ酸カルシウム二水和物



図21. 薬物結晶 (トリブリッセン) (10×対物レンズ視野)

## その他

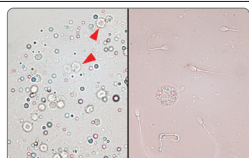


図22. 左脂肪滴 (赤矢印 RBC); 右精子

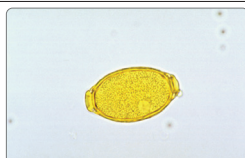


図23. 毛細線虫 *Pearsonema plica* の虫卵



図24. 繊維状異物

